

財務省第2入札等監視委員会 令和2年度第4回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和3年6月11日（金）仙台区税局2階共用会議室	
委員	委員長 青木雅明（東北大学 会計大学院 教授） 委員 高木龍一郎（学校法人東北学院 常任理事） 委員 成田由加里（公認会計士）	
審議対象期間	令和3年1月1日（金）～ 令和3年3月31日（水）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	1件	契約件名：（R02）榴ヶ岡住宅（1・2号棟）ほか4住宅給水ポンプ取替工事 契約相手方：株式会社羽根川設備工事（法人番号1370001005869） 契約金額：6,897,000円 契約締結日：令和3年1月20日 担当部局：東北財務局
随意契約（公共工事）	一件	—
競争入札（物品役務等）	3件	契約件名：未利用国有地の管理等業務（福島県分） 契約相手方：株式会社トーカンオリエンズ（法人番号7011401010984） 契約金額：当初 12,444,410円 第1回変更契約 25,305,170円 第2回変更契約 25,146,495円 契約締結日：当初 令和2年4月1日 第1回変更契約 令和2年11月4日 第2回変更契約 令和3年3月31日 担当部局：東北財務局
		契約件名：仙台区税局管内事務センター（本局）の構内交換電話設備に係る賃貸借及び保守業務 契約相手方：日東通信株式会社（法人番号4370001009693） 契約金額：3,470,790円 契約締結日：令和3年3月29日 担当部局：仙台区税局
		契約件名：書類管理等及び簿書運搬等業務 契約相手方：東邦運輸倉庫株式会社（法人番号6370001005666） 契約金額：14,995,618円 契約締結日：令和2年4月1日 担当部局：仙台区税局
随意契約（物品役務等）	一件	—
応札（応募）業者数1者関連	3件	※未利用国有地の管理等業務（福島県分）に同じ ※仙台区税局管内事務センター（本局）の構内交換電話設備に係る賃貸借及び保守業務に同じ ※書類管理等及び簿書運搬等業務に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事案1】 契約件名：(R02) 榴ヶ岡住宅(1・2号棟)ほか4住宅給水ポンプ取替工事 契約相手方：株式会社羽根川設備工事 (法人番号1370001005869) 契約金額：6,897,000円 契約締結日：令和3年1月20日 担当部局：東北財務局</p> <p>工事内容は高度な技術を要するものではないため、施工が可能な業者は多数あると考えるが、入札参加者が少なかった要因は何か。</p> <p>【事案2】 契約件名：未利用国有地の管理等業務(福島県分) 契約相手方：株式会社トーカンオリエンス (法人番号7011401010984) 契約金額：当初 12,444,410円 第1回変更契約 25,305,170円 第2回変更契約 25,146,495円 契約締結日：当初 令和2年4月1日 第1回変更契約 令和2年11月4日 第2回変更契約 令和3年3月31日 担当部局：東北財務局</p> <p>1者応札となった要因は何か。</p> <p>契約金額について、1回目の変更契約が大幅な増額となった理由は何か。</p> <p>草刈業務の発注予定数量について、当初の公告段階で1回目の変更契約による増量分を見込むことができなかったのか。</p> <p>【事案3】 契約件名：仙台国税局管内事務センター(本局)の構内交換電話設備に係る賃貸借及び保守業務 契約相手方：日東通信株式会社 (法人番号4370001009693) 契約金額：3,470,790円 契約締結日：令和3年3月29日 担当部局：仙台国税局</p> <p>1者応札となった理由は何か。</p>	<p>入札参加者以外にも参加の意向を示していた業者がいたが「会社内部の手續に支障が生じたため、参加を見送った。」と聞いている。その他の要因として、施工時期が年度末のため、他の工事等で多忙なことから参加しなかった業者がいたものと考えている。</p> <p>入札に参加しなかった業者からは「発注予定数量の多い関東財務局の同業務に入札参加することとした。」などと聞いており、福島県は面積が広い一方で取扱財産数が少なく、利益が上げにくいと受け止められ、入札参加者が少なかったものと考えている。</p> <p>草刈業務の対象範囲について、当初、隣接地に接する部分のみとしていたが、周辺住民からの要望等を踏まえて敷地全体としたことなどによって対象面積が大幅に拡大したため、増額となっている。</p> <p>雑草が変更契約を要するほど生えない年度があり、当初は経費節減の観点から対象範囲を最小限に見込んだものだが、次回公告時には発注予定数量の見直しについて、検討していきたい。</p> <p>本調達には、既存の交換電話設備との相互接続を前提とした調達であるが、技術的には他メーカーの交換電話設備でも入札参加できると聞いていたところ、接続後のメンテナンス等の関係から他メーカーは参加を控えたと聞いている。</p>

意見・質問	回答
<p>今回の調達の結果を受けて、競争性の確保について検討を行っているか。</p> <p>【事案4】 契約件名：書類管理等及び簿書運搬等業務 契約相手方：東邦運輸倉庫株式会社 （法人番号6370001005666） 契約金額：14,995,618円 契約締結日：令和2年4月1日 担当部局：仙台国税局</p> <p>文書管理においては、様々な危険性を考慮し、1年以上の継続契約を行うべきではないか。</p> <p>1 者応札となった理由は何か。</p> <p>【総評】 （事案2） 1 回目の変更契約では大幅な増額となっているが、変更契約が生じないよう、公告時には過去の契約状況なども踏まえて適切に発注予定数量を見込んでいただきたい。</p> <p>（全体） 1 者応札改善のため、入札に多数の業者が参加できるように、これまで以上に取り組んでいただきたい。</p>	<p>次回更新時には、競争性を高めるため、今回増設した部分も含めた交換電話設備全体の調達をすることとしている。</p> <p>セキュリティについては、入札前に実態を確認しており、安全性を担保した上で、契約している。 なお、本契約においては、1年間での契約となっているが、令和3年度の調達においては、国庫債務負担行為を活用し、3年間の契約をしている。</p> <p>過去の入札参加業者からは、「落札できる金額を算出できない。」「倉庫に空きがない。」と聞いており、価格や倉庫の状況が要因と認識している。</p>